

知っておきたい

暮らしてお金のいろは

第13回

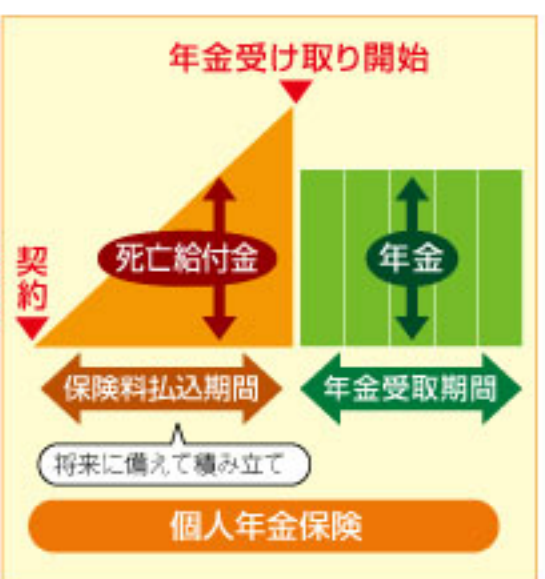
Q 今年、子どもが就職したので、そろそろ自分の定年後に向けた資産形成を考えようと思います。老後に備える手段と、年金保険などを選ぶポイントを教えてください。(50代 男性)

A 定年後に「豊かで快適な暮らし」を送るためには、しっかりとした資産形成が大切です。まず定年後の収入がいくらになるか、また、必要なお金に対していくら不足しているかを知りましょう。

定年後に向けた資産形成はとても重要です。ポイントは、不足分を知った上で準備することです。会社員の場合、公的年金、企業年金、退職一時金などが代表的です。それらを踏まえて次の「3ステップ」を行います。

- ①公的年金額を確認する…「ねんきん定期便」で年金加入期間、加入実績に応じた見込額を確認する(記録漏れや誤りも確認)
 - ②必要額を知る…「1カ月の生活費」+「ゆとりある生活のための上乗せ額」をイメージして必要資金を計算する
 - ③自助努力による資産形成…収入から必要額の差額を貯蓄、個人年金、投資信託、株式、保険など金融商品で準備する
- 例えば個人年金には、契約時に決めた年齢、金額、期間で受け取るタイプと、運用実績に応じて金額が増減するタイプなどがあります。金利や物価動向も考慮し、さまざまな方法を検討することが必要です。

「豊かで快適な暮らし」を実現するため、まずは身近なファイナンシャルプランナーに相談することをお勧めします。



2014年8月現在の税制・税率に基づき作成しています。税制・税率は将来変更される可能性がありますので、ご注意ください。また、個別の税務に関する取り扱いは、税理士または所属の税務顧問にご相談ください。

協力募集代理店(株)ファミリーライフクラモチ 大森 健一さん

独立系FP事務所(株)ファミリーライフクラモチ所属。AFP・住宅

ローンアドバイザーの資格を活用し、セミナー講師・個別相談等を実施。

募集代理店(株)ファミリーライフクラモチ 土浦市永国0977の1 ☎0120・126005

